

平成27年度 愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究大会

平成27年8月21日（金）ウィルあいちウィルホールにて開催いたしました。

地区の研究発表、徳島県で行われた全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会などの伝達講習に続き、講演には、本協議会発足40周年を記念して、春の叙勲で瑞宝双光章を受章されました女子栄養大学栄養科学研究所 客員教授 金田 雅代 先生をお招きしました。

式典

愛知県教育委員会 教育長 野村 道朗 様はじめ、県小中学校長会、公益財団法人愛知県学校給食会、愛知県特別支援学校長会等、多くのご来賓のご臨席をいただきました。

ブロック別研究発表

* 東三河地区（田原市）

「食を通して感謝の気持ちを育む子の育成
—地場産物の活用を通して—」

* 名古屋地区

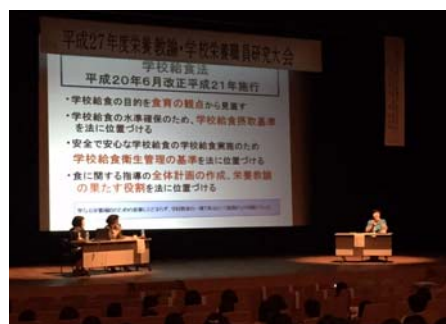
「給食ってすばらしい！献立から学ぼう！
—献立のねらいや給食の食材を生かした指導—」

指導講評では、愛知県教育委員会 健康学習課 主査 浅井 大司 先生より「今、食に注目が寄せられており、食育を推進しやすい環境である。研究発表の取組を、自分の学校に合わせて実践に生かしてほしい。」とのお話や、試食会、料理教室などの日々の活動の大切さ、食に関する指導の科学的な評価方法のあり方についてご指導いただきました。



講演

「子どもの食のこれからを支援する—私たちにできること—」



はじめに、愛知県初の栄養教諭 豊橋市立牟呂中学校 伊與田 敬子 先生より「点から線の時代へ」と題して、食と地域をつなぐ取組と栄養教諭の今後の展開についての発表がありました。

その後、元文部科学省 学校健康教育課 学校給食調査官、現在、女子栄養大学栄養科学研究所 客員教授 金田 雅代 先生と、

愛知県の栄養教諭制度の導入にご尽力されました 愛知みずほ大学短期大学部 教授 上原 正子 先生による対談が行われました。



学校給食の歴史や教育課程における学校給食指導の変遷、栄養教諭制度創設までの経緯等、当時のエピソードを交えたお話に、時間が過ぎるのも忘れ、皆、聴き入っていました。最後には、「栄養教諭は、子どもの成長を楽しみに使命感を持って役割を果たしていかなければならない。」と締めくくりをされ、対談が終了しました。

展示

今年度のブロック別研究発表地区をはじめ、スーパー食育スクールの取組や「愛知を食べる学校給食の日」の各地区取組リーフレット、本協議会が作成した食育資料等が展示されました。

展示スペースは多くの会員で賑わい、他地区の情報を少しでも学ぼうと、興味深く参観していました。

